



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム

RI.D2590ガバナー／高良 明

横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2後藤ビル2F／〒241-0821

TEL.045-365-3273／FAX.045-365-3132

E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2017年2月1日 第2276回例会 VOL. 48 No. 27

■司 会 副SAA 内田 敏

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■斉 唱 君が代、奉仕の理想

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	25名
本日の出席率	96.15%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

斉藤

■他クラブ出席者

青木、関口（地区）

■2月誕生記念祝



佐藤 真吾会員

2.6

■会長報告

2月は平和と紛争予防／紛争解決月間です。先週例会の5分間情報で佐藤さんが述べられました。

2014年10月RI理事会は、紛争予防と仲裁に関する、将来にリーダーとなることが望まれる若者を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。

ロータリーの友誌1月号に緒方貞子氏が紹介されていました。氏は日本人で2人目のロータリーフェローとして、ワシントンのジョージタウン大学の修士課程で学びました。このほど「ロータリー財団100周年学友世界人道奉仕賞」が授与されました。

○地区関係

1) 第5グループの会長幹事会が26日開催されました。高良ガバナーからゾーン編成委員会は、60以上のクラブと会員数2100名以上が望ましい。としています。2590地区は57クラブ、会員数2,051人です。との報告がありました。

又、東京御苑ロータリークラブの紹介がありました。2015年3月に設立、まだ2年未満のクラブですが、会員数130名3年目は200名を目指しているとの事です。

このクラブの特徴は例会は月2回、夜間例会のみ。詳しい会員の内容は、

- ①事業主（年会費 16 万）
- ②一般社会人 41 歳以上（12 万）
- ③一般社会人 31-40 才（10 万）
- ④専業主婦・75 才以上（10 万）
- ⑤例会食事代別途会員（6 万）

例会参加費 1,000 円、

例会食事代別途会員は 4,000 円との事です。

2) 第 49 回インターアクト年次大会が 29 日
ありました。五十嵐会員と旭高校古谷校長、
国島先生と生徒 3 人で参加してきました。

○クラブ関係

1) 旭区地域振興課から鶴ヶ峰にあります「畠
山重忠公」記念碑につきまして、土台が傾い
ています。旭区で直すことができますが、旭
区で修理しますと旭ロータリークラブの名前
が無くなり、横浜市の名前になるとの申し出
がありました。今期中にやりたいので至急連
絡くださいとの事です。ご意見が有りましたら、
今日の理事会で検討しますので申し出て
ください。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○神奈川東ロータリークラブ

日時 2月24日(金)夜間例会

日時 3月31日(金)休会

○大和ロータリークラブ

日時 2月7日(火)取止め例会

日時 2月21日(火)→19日(日)

IMへ振替の為休会

日時 3月14日(火)→12日(日)

55周年記念例会へ振替の為休会

■地区戦略計画・拡大増強セミナー報告

関口 友宏

日時 1月24日(火) 15:30～17:30

場所 メモワールプラザソシア 21

出席者 青木、関口

高良ガバナーから将来のクラブビジョンと
戦略計画の必要性が強調され、テーブル毎の
グループ形式でセミナーが行われました。当
2590 地区は全国 34 地区中、最も会員減少率
が高く、今後既成概念にとらわれない思い切っ
た増強対策が求められています。

小規模地区は RI の管理運営と財務に不利な
影響を受けます。全ての地区が少なくとも 75
クラブ、2,700 名のロータリアンを有するこ
とが望ましい。(1 クラブ平均 36 名)、5 年
後の目標を 2,700 名と定めています。

その為には純増 650 名、各年 130 名とな
ります。会員 50 名未満のクラブは、純増 2 名
以上、50 名以上のクラブは 3 名以上が目標と
なっています。クラブの活力を維持していく
には、若手会員の入会が必要で、その為の環
境作りが今後の大きな課題です。情報集会
での実りある討議を期待しています。

■横浜あざみ RC よりご案内

■親睦委員会

田川 富男

情報集会の開催について

今回の情報集会テーマは、横浜旭 RC が 50 年
を迎える節目の年にどのようなビジョンを持っ
てイベントや意義あるモニュメント等を実施
するかを各グループで検討、討論して頂きま
す。より良い活動を実行する基礎となる為の
情報集会内容を期待しております。その内容
は 50 周年準備委員会の資料として活用させて

頂きます。

下記のテーマとメンバーにて集会を開催して下さい。

○テーマ

1) 横浜旭 RC50 周年を迎えるにあたり、
何をするか。

2) 増強

○グループ

①増田グループ

佐藤 (真)、安藤 (達) 岡田、太田 (勝)、
滝澤、田川

②大川グループ

後藤、吉原、佐藤 (利)、関口、
五十嵐、太田 (幸) 二宮 (麻)

③新川グループ

兵藤、矢田、今野、倉本、青木、
鈴木、市川

④本山グループ

福村、二宮 (登)、斎藤、内田、
北澤、安藤 (公)

* 発表時期 2 月末日までの例会時

■ニコニコ BOX (会員敬称略)

青木 邦弘 / ①倉本さん、今日はよろしくお
願いします。② 2/4 のがんセミナー、クラブ
からの出席者数が少ないので、何とかお一人
3 名の呼びかけをお願いします。

北澤 正浩 / 倉本さん、卓話よろしくお願
い致します。

吉原 則光 / 早くも二月、寒いけれど好天下
の例会。倉本さんの卓話楽しみにしてござ
います。よろしくお願います。

市川 慎二 / 倉本さん、卓話楽しみにして
おります。

田川 富男 / ①倉本さん、卓話よろしくお願
いします。②情報集会への参加でより良い 50
周年を迎えましょう。

後藤 英則 / 倉本さん、卓話楽し味です。

大川 伸一 / ①先日は家内の誕生日にお花を
有難うございました。大変喜んでおりました。
この様な事を殆どしてこなかった私の長い下
準備により効果倍増 (百倍?) となりました。
②倉本さん、本日の卓話をよろしくお願
い致

します。

滝澤 亮 / 倉本様、本日の卓話宜しくお願
い致します。

内田 敏 / 国際奉仕フォーラム、倉本さん、
今日はピンチヒッターだそうで、よろしくお
願い致します。

倉本 宏昭 / 大変なこになりまして、急遽私
が卓話をする事になりました。時間つぶしで
申し訳ありません。

鈴木 茂之 / ①皆さん、こんにちは。明後日
は節分です。今年の恵方巻は北北西やや北向
きに食べるとよいそうです。②本日の卓話、
倉本さん楽しみにしております。

安藤 公一 / 倉本さん、卓話宜しくお願
いします。

佐藤 利明 / 倉本さん、卓話よろしくお願
いします。

兵藤 哲夫 / 会費が無事払い終えました。お
金に感謝!

佐藤 真吾 / ①倉本さん、卓話よろしくお願
い致します。②誕生祝いをいただき有り難う
ございます。

今野 丁三 / 誕生祝いをありがとうございます。
とうとう大台に乗ってしまいました。こ
れからは年を取っていきたくと思います。

五十嵐 正 / 久しぶりの倉本さんの卓話、
楽しみにしております。よろしくお願
いします。

二宮麻理子 / ①倉本さん、本日の卓話よろ
しくお願います。② 2/4 (土) サンハートで行
いますがんセミナーに皆様多くの方にお声掛
けいたきたいと思ひます。又、お手伝いして
いただける方、宜しくお願い致します。

■卓話「なぜ 2 月は 28 日までしかないのか」
倉本 宏昭

今年も早くも 2 月になり、新年から 32 日
が過ぎて残りは 333 日となってしまった。2 月
は他の月より短くて 28 日 (閏年は 29 日) まで。
1 年は 365 日で、12 か月で割れば 30、余りが
5。単純に考えれば余った 5 日を適当に割り
振れば、30 日の月が 7、31 日の月が 5 でいい
はず。それがなんで 2 月だけ 28 日なのか?



なぜ2月だけ短いのかは暦がどのようにできたのかと、深い関係がある。

今使われている暦は2000年以上も前にローマで作られた暦が、400年程前に改良されてできたもの。

今は1月が年の始まりだが、大昔のローマでは3月が1年の始まりだった。多分作物の芽が出る春が1年の始まりに相応しいと考えたためだろう。

3月で始まると2月は1年の最後の月になる。歴史的に見ると、最も大きな改暦は、紀元前153年1月1日。この年から年の始まりが3月ではなくて1月になった。

その後、紀元前45年1月1日からユリウス・カエサルによってユリウス暦が採用され、奇数月を31日、偶数月を30日として、更に、自分の生まれた7月に自分の名前（ユリウス、英語ではジュライ）をつけた。

更に、2月の平年は29日、周年は30日とした。2月はもともと1年の最後の月だったので、2月で調整することにした。

その後、後継者で初代ローマ皇帝のアウグストウスが、自分の生まれた月「8月」が短いのはイヤだと言い出して、不満に思い、カエサルがやったのと同じように8月を31日にしてしまい、自分の名前までつけてしまった。

つまり、2月から1日持ってきて8月につけた。ただでさえ短い2月は、更に1日減らされて28日になってしまった。

現在、世界では「グレゴリウス暦」が使われているが、これは中世のローマ教皇グレゴリウス13世が、1582年にユリウス暦を改正した太陽暦である。

■ロータリー百科事典より

○財団への寄付について

以下の三つの基金に寄付することができる。

1) 年次プログラム基金



年次プログラム用の寄付金を入れておくもので、元金で財団の奨学金や補助金を支払う。寄付金は寄付の約3年後に使われる。収益基金はこの3年間の寄付収益を入れておくもので、プログラムの運営、寄付増進、一般運営費に充てる。

2) 恒久基金



収益だけを財団プログラムの支援に使う基金である。その目標は財団への毎年の支援を補い、それによって少なくともある程度のプログラム活動を行い、将来における人類の緊急のニーズに応える新プログラムまたは、プログラムの拡張を容易にしようとするもの。ベネファクターになることは、恒久基金支援の第1歩と言える。

3) ポリオ・プラス基金



ポリオ・プラス・プログラムとその目標を支援して授与される補助金すべてを支払うものである。

■次週の卓話

2/15 荒川龍一郎様

(認定特定非営利活動法人、

日本地雷処理を支援する会 JMAS 理事長)

週報担当 吉原 則光